

令和 6 年 11 月 28 日
農林水産部記者発表資料

～ 農業分野では自治体による全国初のプロジェクト運営！ ～
新潟市の「みどりの農業推進プロジェクト」が
J-クレジット制度のプロジェクトとして承認・登録されました

新潟市では、これまで水田から排出される温室効果ガスであるメタンガス削減を目指す「新潟しみどりの農業推進プロジェクト」を立ち上げ、新潟市J-クレジット普及推進協議会（事務局 新潟市農業活性化研究センター）を中心に取り組みを進めてきました。

今般、本プロジェクトが、令和 6 年 10 月 29 日付「第 62 回 J-クレジット制度認証委員会」の審査を経て、承認・登録されましたのでお知らせします。

農業分野の方法論に取り組むプロジェクトの運営・管理者を、自治体が担うのは全国で初めての事例であり、この度の承認・登録を受けて、R7 年度から水稲栽培における中干し期間の延長に着手し、水田からのメタンガス削減及びJ-クレジットの創出・販売を目指します。

J-クレジットを介して、環境に配慮した持続可能な農業を推進するとともに、農業や企業の環境保全活動の活性化を図っていきます。

※新潟市J-クレジット普及推進協議会とは

温室効果ガス排出量削減の方法論「水稲栽培における中干し期間の延長」により、水田から排出されるメタンガス削減に官民連携で取り組むため、農業者、農業団体、金融機関、新潟市等で構成する「新潟市J-クレジット普及推進協議会」を令和 6 年 3 月 27 日に設立。



※水稲中干し（なかぼし）とは

- ・水稲の栽培期間中、水田の水を落とし土壌を乾かす作業のことで、稲の過剰生育の抑制や根の活力維持などに効果があります。
- ・国の試験研究では、中干し期間を直近 2 か年以上の実施日数の平均より、7 日間以上延長することで、土壌中のメタン生成菌の働きを抑制し、温室効果ガスの一つであるメタンの発生量を 3 割削減する効果が実証されています。

【プロジェクト概要】

- 名称：新潟しみどりの農業推進プロジェクト（別紙 登録証）
- 運営・管理者：新潟市
- 削減活動に取り組む団体：新潟市J-クレジット普及推進協議会
- 適用する方法論：AG-005 水稲栽培における中干し期間の延長
- 対象区域：新潟県新潟市